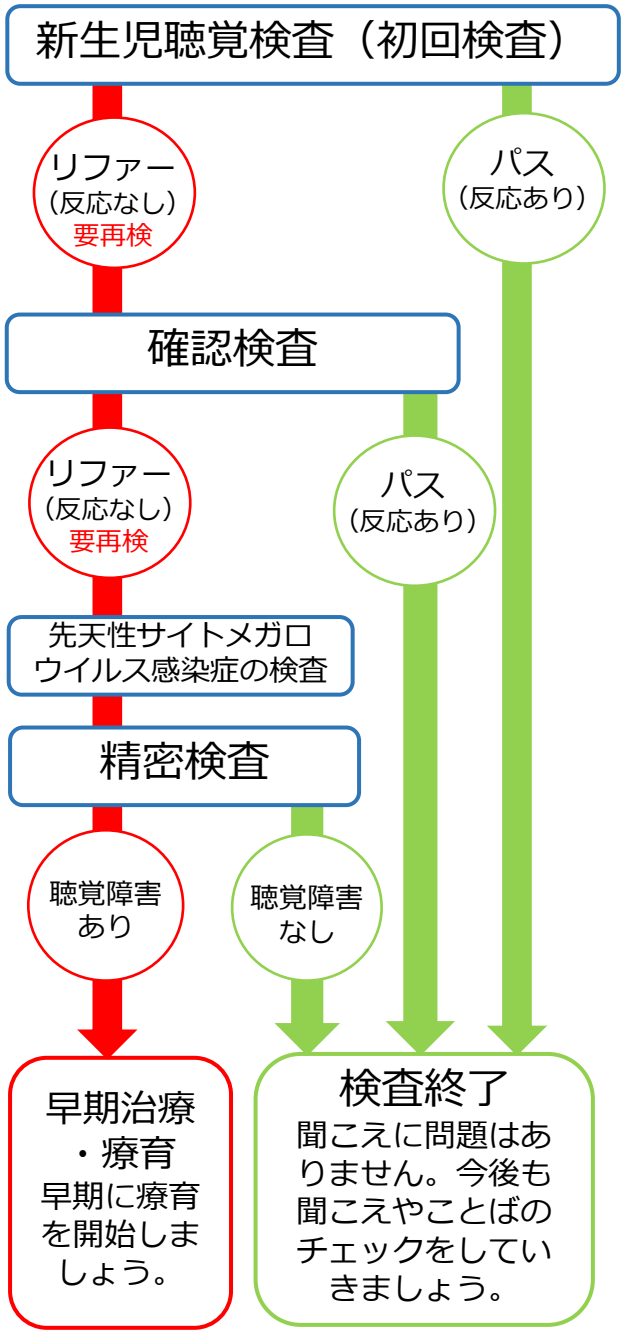
新生児聴覚検査の流れ



赤ちゃんのきこえの発達のめやす

きこえの発達には個人差があります。下記の項目を参考にしつつ、気になることがあればかかりつけの小児科、耳鼻咽喉科、お住まいの市町村の母子保健担当課にご相談ください。

【出生～３か月】
□突然の音にビクっとする
□近くで声をかけるとゆっくり顔を向けることがある
【４か月～６か月】
□名を呼ぶとゆっくりではあるが顔を向ける
□テレビなどの音に敏感に振り向く
【７か月～９か月】
□となりの部屋の物音や、外の動物の鳴き声などに振り向く
□音楽や、歌をうたうと、手足を動かして喜ぶ
【10か月～11か月】
□そっと近づいて、ささやき声で呼びかけると振り向く
□「～ちょうだい」というと、そのものを手渡す
【12か月～15か月】
□簡単なことばによるいいつけや、要求に応じて行動する
□目、耳、口、その他の部位をたずねると、指を指す

出典：日本耳鼻咽喉科学会「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」

問合せ先　神奈川県健康医療局保健医療部
健康増進課045-210-4786

神奈川県

資料2-3

※差し替え版

赤ちゃんのお耳のきこえの検査を受けましょう！

～新生児聴覚検査のご案内～

（改訂案）

※新生児聴覚検査を受けている画像などを入れる
↓（例）



赤ちゃんは1000人のうち１～２人は、生まれつき耳の聞こえにくさがあると言われています。

耳の聞こえは、外見ではわかりにくいものです。お子さんの耳が聞こえにくいことに気づかずにいると、ことばの発達が遅れたり、コミュニケーションがとりにくくなることもあります。

新生児聴覚検査を受けて、耳の聞こえを確かめましょう！

監修

※表紙とフロー図についてはふりがなを入れる予定

検査はいつ、どこで受けたらいいですか？

出生後、出生した医療機関等で初回検査・確認検査ともに行われます。
医療機関で検査を行っていない場合は、検査が行っている施設を紹介してもらいましょう。生後１か月までに検査を受けることが大切です。

どんな検査ですか？

赤ちゃんが眠っている間に、小さな音を聞かせ、反応を検査機器で確かめます。検査は数分から10分以内で終わります。
痛みや赤ちゃんの体への影響のない安全な検査です。
検査費用は自己負担ですが、神奈川県では全ての市町村で、費用の一部を助成しています。

※イラストを入れる
→（例）



検査結果の見方

パス　今回の検査では聞こえの反応があったということです。

リファー　今回の検査では反応が確認できなかったということです。必ずしも聞こえに問題があるとは限りませんが、再度検査が必要になります。

確認検査でリファーだったらどうすればよいのですか？

出生した医療機関などで先天性サイトメガロウイルス感染症の検査が行われます。検査結果が陽性の場合は生後２か月以内、陰性でも生後３か月以内に精密検査医療機関を受診して、詳しい検査を受けましょう。

先天性サイトメガロウイルス感染症とは　⇒　二次元コード

受診・相談先

神奈川県の精密検査医療機関

詳しい検査を実施する医療機関です。　二次元コード

市町村母子保健担当課

こどもの育ちや発達は人それぞれです。
不安なことや気になることがあれば相談しましょう。　二次元コード

神奈川県聴覚障害者福祉センター

きこえのことで不安があれば、詳しい検査を受ける前でも相談できます。　二次元コード

新生児聴覚検査を受けた保護者の声

リファーと言われたときは、頭が真っ白になりました。その後難聴と診断され、補聴器をつけて、今ではやり取りを楽しんでいます。新生児聴覚検査で早くに難聴がわかり、安心して相談できる場所につながれたことが、わが子の成長につながっていると感じています。